

事業番号	08 02 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光産業受入体制レベルアップ事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課	
		実施期間	H25～	E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	観光消費額					
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 多様化する観光客のニーズに対応するため、観光事業者を始め、農商工業事業者やNPO団体、地域住民や行政など、域内の事業関係者等が連携し合い、地域が一体となって地域資源を最大限に活かした観光地域づくりを推進する必要がある。
	【目指す姿】 年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、誰もが安心して旅行を楽しむ事が出来る観光地域づくりを進める。そのために、訪れた方々が、観光目的地だけではなく、地域住民との触れ合いや、おもてなし等に満足して頂くとともに、食や温泉地の価値向上を図ることで、世界に認められるNAGANOとなるよう受入環境整備の促進を図る。
	【実施内容】 信州おもてなし未来塾、ユニバーサルツーリズム推進会議の開催のほか、信州感動料理の開発等を行うアカデミーの開講、温泉地Re・デザインにかかる先進事例研修、視察及びワークショップの開催 等

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)		
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	H30年度	R1年度
1	信州おもてなしマイスター養成数(累積)	120	150	151	196	未達成	前年度繰越		
							現計予算	12,142	18,897
							合計(A)	12,142	18,897
							うち一般財源	10,942	13,115
2	ユニバーサルツーリズムモデルコース設定数	—	6本	4本	4本	達成	決算額(B)	10,208	14,141
							職員数(人)	2.9	2.9
3									
4									

成果指標設定理由	①県内の各業界・各地域のおもてなし向上を牽引するリーダーとなる「信州おもてなしマイスター」の養成がおもてなし満足度の向上等につながるため指標に設定（実績値等に基づき設定）。 ②ユニバーサルな観光地域づくりが県内でのユニバーサルツーリズムによる誘客促進につながるため指標に設定。
----------	---

達成状況の分析	①新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度おもてなし未来塾が中断しており、養成数は151名に留まっている。未修部分は新型コロナウイルスの収束状況を鑑みながら令和2年度に開催する予定。 ②目標どおり4地域4コースを造成した。併せて信州大学と連携しツアー造成や宿泊・観光施設のバリアフリー情報を収集し、公式観光サイト「Go NAGANO」への掲載を行った。
---------	---

主な取組	おもてなしを牽引するリーダーの養成、おもてなしマイスターの活用 ・信州おもてなし未来塾(第VI期の開催、受講者36名) ・「おもてなし」の優れた功績等を信州おもてなし大賞として表彰(応募数16件、大賞2団体) ・おもてなしマイスターの取組活性化につなげるマイスターサミットを開催(R2.1) 等	
	ユニバーサルツーリズムによる観光地域づくりの推進 ・長野県ユニバーサルツーリズムフォーラムや体験講習等の研修会を開催(4地域4回) ・信州大学と共同でモデルコースの設定、ツアー造成(4コース造成) ・宿泊・観光施設のバリアフリー情報を収集し、県公式サイト「GoNAGANO」への掲載等、情報を一元化(掲載数237件) 等	
	信州感動料理アカデミーの開催による「信州の食」のブランド価値向上を推進 ・信州感動健康料理アカデミーの開催(全4回、参加人数123名) ・信州感動健康料理フォーラムの開催(参加人数約70名)	

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし推進事業 150名を超えるおもてなしマイスターが養成されたが、マイスターの活用方法が課題となっている。 ・ユニバーサルツーリズム これまで旅行商品モデルルート造成や観光・宿泊施設のバリアフリー情報を県公式サイトで発信し、県外旅行者等に情報を届けてきた一方で、ユニバーサルツーリズムの取組状況は地域差があることや実務人材(インクルーシブ野外活動指導員等)が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし推進事業 マイスターサミットを開催し、情報交換の場を作る他、地域と連携しながらマイスターが活躍できるような方法を検討する。 ・ユニバーサルツーリズム 信州大学との共同事業として、実務人材養成講座を開講し、実務人材を育成していく。 ユニバーサルツーリズムの考えや取組を各地に広げていくため、セミナーや地域研修会(体験会)を開催していく。

事業番号 08 02 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	観光産業受入体制レベルアップ事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	観光おもてなし推進事業		2,957 千円	3,614 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	信州おもてなし未来塾(第VI期)の開催	直接	おもてなし向上を牽引するリーダーを養成するため、「信州おもてなし未来塾(第VI期)」を開催。 【受講者数36名】	
2	信州おもてなし大賞の表彰	直接	他の模範となる「おもてなしの」の取組みや優れた功績等を掘り起こし、信州おもてなし大賞として表彰。 【応募数16件：大賞2団体、特別奨励賞2団体、奨励賞3団体】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	ユニバーサルツーリズム推進事業		3,218 千円	6,108 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	ユニバーサルツーリズム推進会議	直接	ユニバーサルツーリズム取組団体及び観光関係者によるネットワーク会議を開催【1回(第2回はコロナ感染防止のため中止)】 実践に近い形で体験講習等の研修会を開催【4地域4回】	
2	ユニバーサルツーリズムモデルコースの設定	負担金	信州大学と連携し、モデルコースの造成、モニターツアーによる検証の実施【モデルコース造成 4コース】	
3	情報発信・商品化	補助金	観光施設、飲食施設、土産店、公共施設などのバリアフリー情報の収集、「Go NAGANO」での情報発信 【調査数622件 掲載数237件】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	「信州の食」ブランド価値向上事業		3,070 千円	3,060 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	信州の感動料理アカデミーの開催	委託	信州感動健康料理アカデミーの開催【全4回 参加人数123名】 信州感動健康料理フォーラムの開催【参加人数 約70人】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	「温泉地 Re・デザイン」事業		963 千円	1,359 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	Re・デザインにかかる先進事例研修、視察及びワークショップの開催	直接	温泉地経営の優良事例を学ぶ研究会を開催し、温泉地活性化に意欲的に取り組む地域をアドバイザー派遣やワークショップ、フィールドワークの開催により支援。 【研究会 27名参加、支援地域数 4、フィールドワーク 14名参加】	